

# 2026年度第1四半期決算説明資料

2026年8月4日

三菱重工株式会社

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



<西尾CFO>

決算のご説明に先立ち、一言申し上げます。

このたびの令和8年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。  
また、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

なお、当社グループの業績、事業拠点への直接的な影響は、現時点では限定的です。

|                           |              |
|---------------------------|--------------|
| <b>1. 決算のポイント</b>         | <b>3-5</b>   |
| <b>2. 2026年度第1四半期決算実績</b> | <b>6-14</b>  |
| ・ 連結経営成績サマリー              |              |
| ・ 連結財政状態                  |              |
| ・ 事業利益増減分析                |              |
| ・ セグメント情報                 |              |
| <b>3. 2026年度業績見通し</b>     | <b>15-19</b> |
| ・ 業績見通しサマリー               |              |
| ・ セグメント情報                 |              |
| <b>4. 補足資料</b>            | <b>20-23</b> |

**<留意事項>**

- ・ 前年度実績については、損益計算書および貸借対照表ともに、本年5月1日付けで当社連結対象から除外した旧三菱ロジスネクスト株式会社およびその子会社・関連会社に係る事業（以降“ML”と表記）に関する数値を、国際会計基準（IFRS）の規定に基づき組替え表示しています
- ・ 本年4月1日付の組織再編により、「物流・冷熱・ドライブシステムセグメント」の名称を「インダストリアル・ソリューションセグメント」に改称するとともに、「データセンター＆エネルギーマネジメント部」を同セグメントへ移管しました。前年同期実績には、この移管を遡及して反映しています

**<AIナレーター>**

それでは、2026年度第1四半期の決算実績の詳細、ならびに年間の業績見通しについて、ポイントを絞って説明致します。説明は、わたくし、IR・SR室所属のAIナレーター、ジュリアが担当致します。

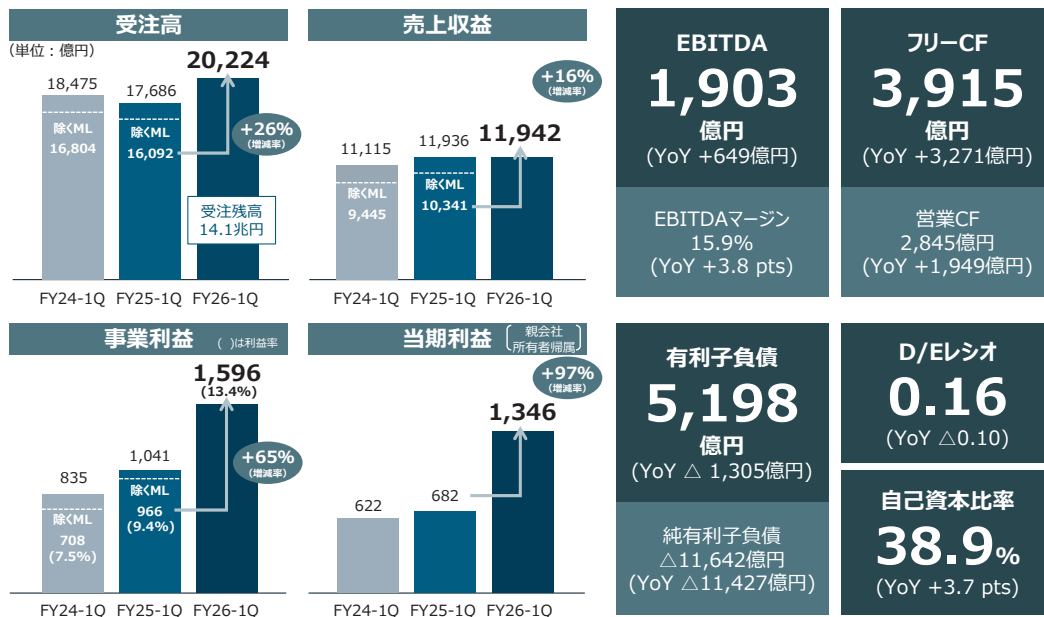
はじめに、留意事項です。

比較対象の前年度実績につきましては、本年5月1日付で当社連結対象から除外した旧三菱ロジスネクスト関連の事業に関する数値を、会計基準の規定に従い組み替えて表示しています。

また、本年4月1日付の組織再編により、「物流・冷熱・ドライブシステムセグメント」の名称を「インダストリアル・ソリューションセグメント」に改称するとともに、「データセンター＆エネルギーマネジメント部」を同セグメントへ移管しました。前年同期実績には、この移管を遡及して反映していますので、ご注意ください。

# 1. 決算のポイント

## 2026年度第1四半期決算実績



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

4

それでは、4ページをご覧ください。第1四半期実績の全体概況について説明致します。

受注高は、GTCCを中心にエネルギーが大幅に増加し、2兆224億円となりました。この結果、受注残高は前年度末から8,600億円以上積み上がり、14兆円を超えています。

売上収益は、前年同期比16%増の1兆1,942億円、事業利益は、前年同期比65%増の1,596億円となりました。事業利益は、全セグメントで前年同期を上回りました。

また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、事業利益の増加に加え、為替の円安進行により、前年同期比97%増の1,346億円となりました。

受注高、売上収益、事業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも、第1四半期実績として過去最高を更新しました。

なお、フリー・キャッシュ・フローは3,915億円の黒字、有利子負債残高は5,198億円となっています。

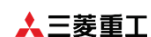
- **受注高：20,224億円**（前年同期比：+4,132億円、26%増）  
エネルギー、プラント・インフラ、インダストリアル・ソリューションの3セグメントにおいて前年同期比増加。主な事業別では、GTCCが受注高を大きく伸ばした。  
受注残高は、前年度末から8,653億円増の14兆1,030億円となった
- **売上収益：11,942億円**（前年同期比：+1,600億円、16%増）  
エネルギー、インダストリアル・ソリューション、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増収。  
主な事業別では、GTCC、原子力が売上収益を大きく伸ばした
- **事業利益：1,596億円**（前年同期比：+629億円、65%増）  
全セグメントにおいて前年同期比増益。GTCC、原子力が事業利益を大きく伸ばした
- **当期利益：1,346億円**（前年同期比：+664億円、97%増）  
事業利益の増加に加え、円安進行にともなう為替差益の計上により、前年同期比で大幅な増益となった

（省略）

## 2. 2026年度第1四半期決算実績

それでは、決算実績について、もう少し詳細に説明してまいります。

## 連結経営成績サマリー



| (単位：億円)              | FY2025-1Q<br>(利益率) |                  | FY2026-1Q<br>【B】<br>(利益率) | 増減<br>【B】-【A】<br>(利益率) | (増減率)    |
|----------------------|--------------------|------------------|---------------------------|------------------------|----------|
|                      | 除くML* 【A】          |                  |                           |                        |          |
| 受注高                  | 17,686             | 16,092           | 20,224                    | +4,132                 | (+25.7%) |
| 売上収益                 | 11,936             | 10,341           | 11,942                    | +1,600                 | (+15.5%) |
| 事業利益                 | 1,041<br>(8.7%)    | 966<br>(9.4%)    | 1,596<br>(13.4%)          | +629<br>(+4.0 pts)     | (+65.1%) |
| 親会社の所有者に<br>帰属する当期利益 | 682<br>(5.7%)      | 682<br>(6.6%)    | 1,346<br>(11.3%)          | +664<br>(+4.7 pts)     | (+97.4%) |
| EBITDA               | 1,432<br>(12.0%)   | 1,254<br>(12.1%) | 1,903<br>(15.9%)          | +649<br>(+3.8 pts)     | (+51.8%) |
| フリー・キャッシュ・フロー        | 643                | 643              | 3,915                     | +3,271                 |          |
| 営業キャッシュ・フロー          | 896                | 896              | 2,845                     | +1,949                 |          |
| 投資キャッシュ・フロー          | △253               | △253             | 1,069                     | +1,322                 |          |

(\*) 除くML：P.2に記載した要領に基づき、2025年度の実績を組み替えて表示

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

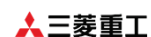
7

7ページをご覧ください。

上段の、受注高・売上収益・事業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益は、先ほどお伝えしたとおりです。

下段には、フリー・キャッシュ・フロー3,915億円の内訳を記載していますが、営業キャッシュ・フローは2,845億円の黒字となりました。これは、利益の創出に加え、GTCCなどで引き続き多額の前受金を獲得していることによるものです。また、投資キャッシュ・フローは、旧三菱ロジスネクスト関連の事業売却等により、1,000億円超の黒字となりました。

## 連結財政状態



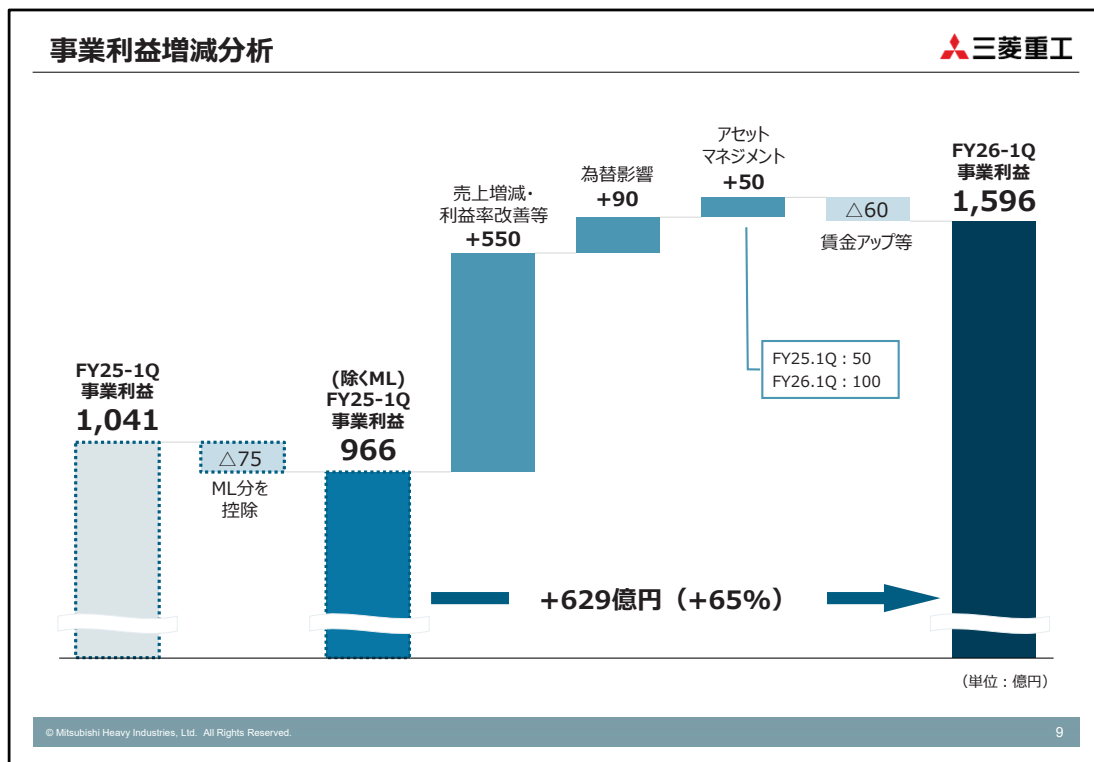
| (単位：億円)            | FY25末    | FY26-1Q末 | 増減       |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 売上債権（営業債権及び契約資産）   | 21,277   | 18,983   | △2,293   |
| 棚卸資産               | 10,418   | 11,548   | +1,129   |
| その他流動資産            | 22,707   | 22,171   | △536     |
| （うち現金及び現金同等物）      | (13,348) | (16,840) | (+3,492) |
| （うち売却目的で保有する資産）    | (5,484)  | -        | (△5,484) |
| 固定資産               | 9,783    | 9,831    | +48      |
| 投資等                | 18,509   | 18,977   | +468     |
| 資産合計               | 82,697   | 81,513   | △1,183   |
| 営業債務               | 10,008   | 9,134    | △873     |
| 契約負債               | 21,618   | 24,832   | +3,213   |
| その他                | 13,628   | 9,952    | △3,676   |
| （うち売却目的で保有する負債）    | (2,819)  | -        | (△2,819) |
| 有利子負債              | 5,157    | 5,198    | +41      |
| 資本                 | 32,284   | 32,395   | +111     |
| （うち親会社の所有者に帰属する持分） | (30,885) | (31,712) | (+826)   |
| 負債及び資本合計           | 82,697   | 81,513   | △1,183   |

8ページをご覧ください。バランスシートについて説明致します。

総資産は8兆1,513億円、前年度末から約1,200億円減少しました。下段の表にある契約負債、つまり前受金の増加を主要因として、現金および現金同等物が約3,500億円増加する一方、旧三菱ロジスネクスト関連の事業売却が完了したことにより、前年度末に売却目的保有に分類した約5,500億円の資産が、第1四半期末でゼロとなったことが、総資産減少の主な背景です。

有利子負債残高は前年度末と概ね同水準で、同残高から現金および現金同等物残高を差し引いたネット有利子負債残高は、1兆1,642億円のマイナスとなっています。





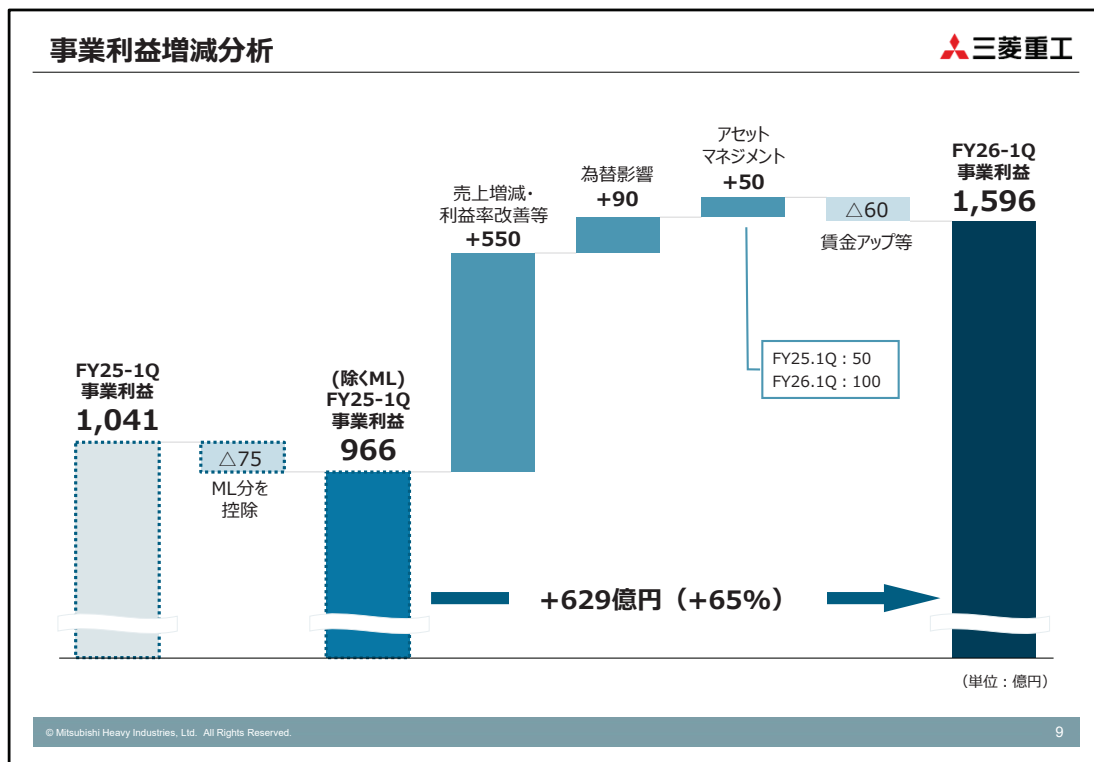
9ページをご覧ください。前年同期対比での事業利益の増減要因について説明致します。

当第1四半期は、旧三菱ロジスネクスト分を除いた前年同期実績966億円から、合計で629億円の増益となりました。

このうち、550億円は売上の増加と利益率の改善によるものです。豊富なバックログの遂行、収益性の高いアフターサービスの提供に加え、ここ数年の受注時採算の好転等もあり、大幅な増益となりました。

為替影響のプラス90億円は、売上計上レートが、前期の1ドル146円から、当期の157円へと大きく円安に振れたことによるものです。また、アセットマネジメントでは、前年同期対比で50億円の増益となりました。

続いて、事業セグメント別の受注・売上・事業利益の動きについて説明致します。



#### <西尾CFO：補足>

事業利益増減分析における「売上増減・利益率改善等」550億円について、もう少し詳細にご説明します。

この550億円を売上増減と利益率改善に分解すると、売上増減による影響が170億円、利益率改善による影響が380億円です。また、利益率改善380億円のうち、250億円は第1四半期に限った一過性の改善です。

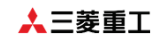
この250億円のうち150億円は、大規模な長期プラント工事において、売価が確定したことに伴い計上した利益です。工事の仕様変更などにより売価が未確定のまま進行基準により決算を行う場合、当該部分の粗利益を認識せず、売価が確定した時点で、過年度の進捗分を含めて利益を計上します。このため、第1四半期に一過性の利益として150億円を計上しました。

これに加えて、複数の発電関連事業の売却益を合計で約100億円計上しました。

なお、この一過性の改善250億円は、通期業績見通しに織り込み済みです。一方、売上増減・利益率改善による増益は、通期で830億円程度を見込んでいましたが、第1四半期ですでに550億円を計上しています。非常に好調なスタートであり、当初期待していた利益改善が早い段階で実現していると認識しています。

したがって、個人的には通期業績が上振れる可能性は高いと見ています。ただし、まだ第1四半期の段階ですので、今後精査したうえで、第2四半期に改めて業績見通しをお示ししたいと考えています。

## 決算実績 セグメント別内訳

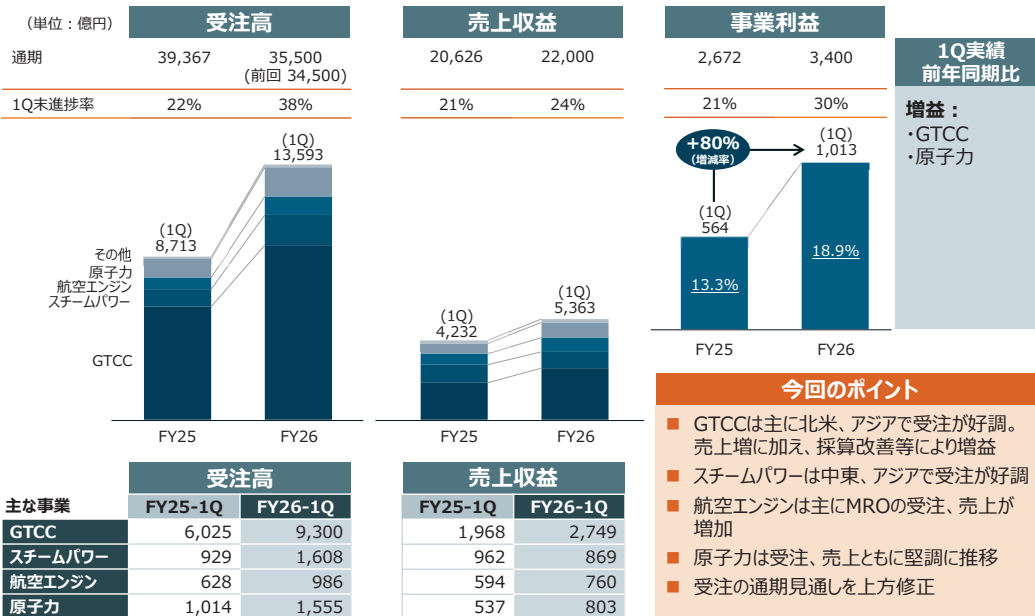


|                  | 受注高         |            |        | 売上収益        |            |        | 事業利益        |            |                |
|------------------|-------------|------------|--------|-------------|------------|--------|-------------|------------|----------------|
|                  | FY25*<br>1Q | FY26<br>1Q | 増減     | FY25*<br>1Q | FY26<br>1Q | 増減     | FY25*<br>1Q | FY26<br>1Q | 増減<br>(増減率)    |
| (単位：億円)          |             |            |        |             |            |        |             |            |                |
| エナジー             | 8,713       | 13,593     | +4,880 | 4,232       | 5,363      | +1,131 | 564         | 1,013      | +449<br>(+80%) |
| プラント・インフラ        | 2,395       | 3,688      | +1,292 | 2,079       | 2,000      | △79    | 185         | 217        | +31<br>(+17%)  |
| インダストリアル・ソリューション | 1,627       | 1,930      | +303   | 1,546       | 1,779      | +232   | 40          | 99         | +59<br>(+146%) |
| 航空・防衛・宇宙         | 3,508       | 1,209      | △2,298 | 2,605       | 2,860      | +255   | 288         | 324        | +36<br>(+13%)  |
| その他及び<br>全社又は消去  | △152        | △197       | △44    | △122        | △61        | +60    | △111        | △58        | +52<br>(-)     |
| 合計               | 16,092      | 20,224     | +4,132 | 10,341      | 11,942     | +1,600 | 966         | 1,596      | +629<br>(+65%) |

(\*) P.2に記載した要領に基づき、2025年度の実績を組み替えて表示

(省略)

## セグメント別決算実績 <エナジー>



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

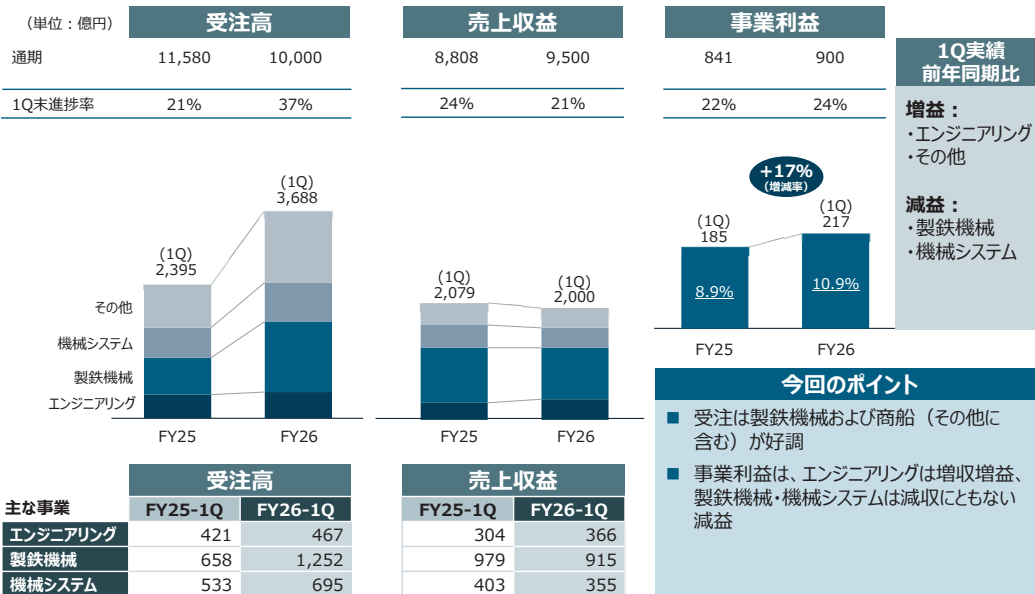
<AIナレーター>

11ページをご覧ください。

エナジーセグメントでは、GTCC、スチームパワーおよび原子力が受注高を大きく伸ばし、セグメント全体の受注高は、前年同期比56%増の1兆3,593億円となりました。GTCCは、引き続き、北米・アジアでの受注が好調です。

売上高は、前年同期比27%増の5,363億円。事業利益は、主にGTCCと原子力の増収効果・採算改善により、前年同期比80%増となる1,013億円と、大幅な増益を達成しました。

## セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

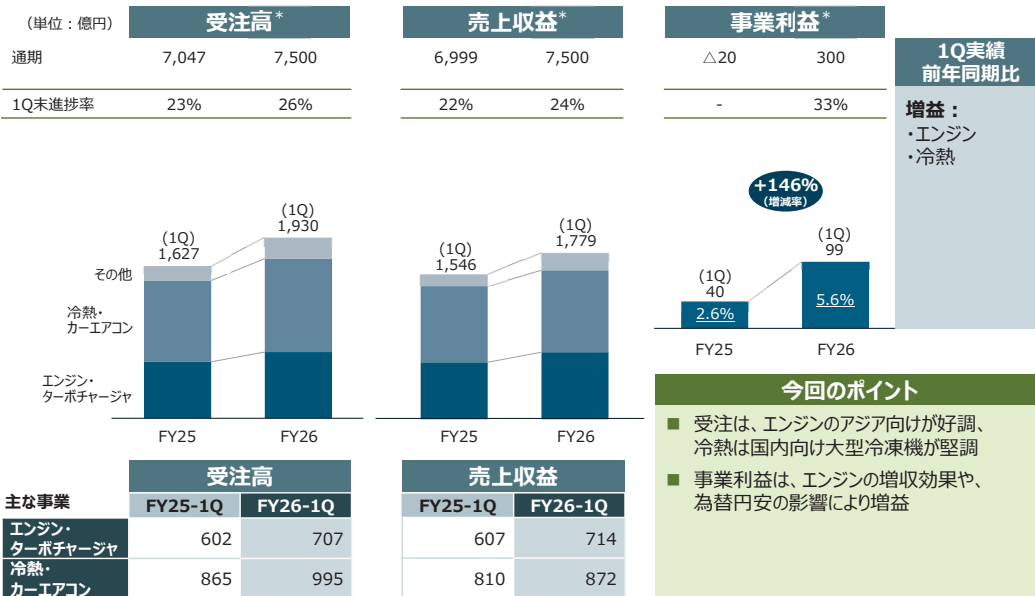


12ページをご覧ください。

プラント・インフラセグメントでは、製鉄機械と商船の受注が大幅に増加し、セグメント全体の受注高は、前年同期比54%増の3,688億円となりました。

事業利益に関しては、製鉄機械と機械システムが第1四半期断面では減収に伴い減益となったものの、エンジニアリングの増収増益等により、セグメント全体では前年同期比17%の増益となりました。

## セグメント別決算実績 <インダストリアル・ソリューション>



(\*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

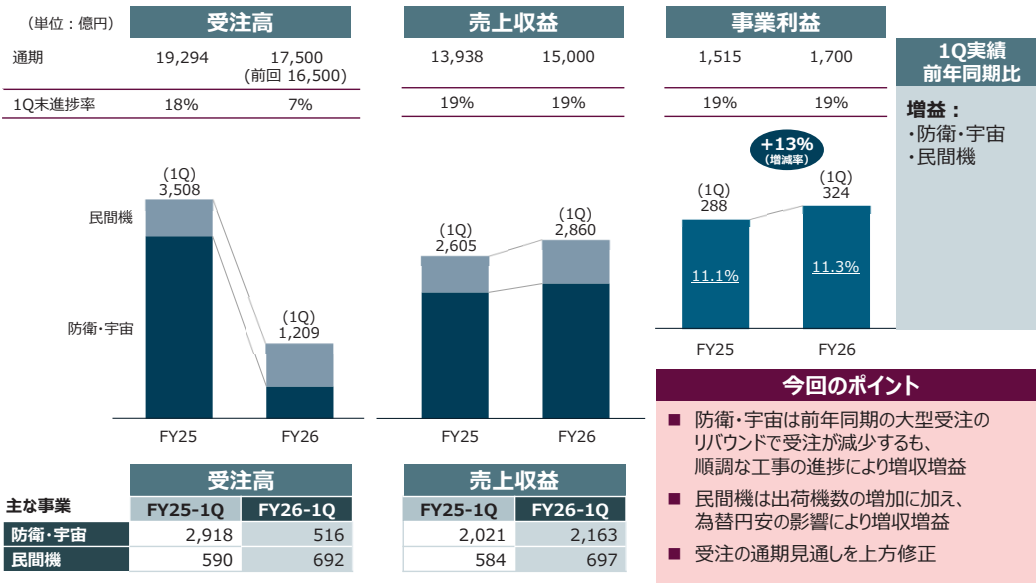
13

13ページをご覧ください。

インダストリアル・ソリューションセグメントの受注は、エンジンがアジア向けで、大型冷凍機が国内向けで、それぞれ堅調に推移し、セグメント全体では、前年同期比19%増の1,930億円となりました。

また、エンジンの増収効果や、為替円安等の影響により、セグメント全体では前年同期比146%の増益となりました。

## セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>



14ページをご覧ください。

航空・防衛・宇宙セグメントの受注は、前年同期における防衛の大型受注のリバウンドで大きく減少しましたが、受注残は約3兆9,000億円と高い水準を維持しています。

また、防衛・宇宙の豊富な手持ち工事の着実な遂行、ならびに民間航空機の出荷機数増加等により、前年同期比10%の増収、13%の増益となりました。

### 3. 2026年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。  
従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。  
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

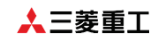
業績見通しには、中東情勢の影響を含めておりません。  
足許の影響は限定的ですが、情勢は流動的であり、引き続き状況を注視して参ります。

続きまして、年間の業績見通しについて説明致します。

なお、中東情勢については、現時点で特段大きな影響は生じておりません。  
また、先行きに関しましては、引き続き流動的かつ不透明な状況であるため、今回の見通しには織り込んでおりません。



## 業績見通しサマリー



前回公表（2026年5月12日）から変更あり

| (単位：億円)              | 2025年度<br>(利益率)    | 2026年度<br>(利益率)    |                           | 2025年度比<br>増減<br>(利益率)         | (増減率)    |
|----------------------|--------------------|--------------------|---------------------------|--------------------------------|----------|
|                      |                    | 前回見通し              | 今回見通し                     |                                |          |
| 受注高                  | 76,536             | 68,000             | <b>70,000</b>             | △6,536                         | (△8.5%)  |
| 売上収益                 | 49,741             | 54,000             | <b>54,000</b>             | +4,258                         | (+8.6%)  |
| 事業利益                 | 4,322<br>(8.7%)    | 5,400<br>(10.0%)   | <b>5,400</b><br>(10.0%)   | +1,077<br>(+1.3 pts)           | (+24.9%) |
| 親会社の所有者に<br>帰属する当期利益 | 3,321<br>(6.7%)    | 3,800<br>(7.0%)    | <b>3,800</b><br>(7.0%)    | +478<br>(+0.3 pts)             | (+14.4%) |
| ROE                  | 12.2%              | 12%                | <b>12%</b>                | -                              |          |
| EBITDA               | 5,537<br>(11.1%)   | 6,600<br>(12.2%)   | <b>6,600</b><br>(12.2%)   | +1,062<br>(+1.1 pts)           | (+19.2%) |
| フリー・キャッシュ・フロー        | 8,934              | 3,000              | <b>6,000</b>              | △2,934                         |          |
| 配当                   | 25円<br>中間12円/期末13円 | 29円<br>中間14円/期末15円 | <b>29円</b><br>中間14円/期末15円 | 前提為替レート：<br>1ドル＝150円、1ユーロ＝180円 |          |

※業績見通しには、中東情勢の影響を含めておりません

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

16

それでは、16ページをご覧ください。

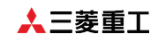
受注については、年間見通しを7兆円に上方修正します。GTCCと防衛・宇宙の通期見通しをそれぞれ1,000億円ずつ引き上げました。

また、フリー・キャッシュ・フローについては3,000億円上乘せし、6,000億円の黒字に上方修正します。

売上収益、事業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益については、前回公表値から変更ありません。なお、事業利益5,400億円には、一時費用のリスクバッファ200億円が含まれています。

前提為替レートは1ドル150円のまま据え置いています。  
為替のエクスポージャーは、事業利益ベースで32億ドルです。

## 業績見通し セグメント別内訳



前回公表（2026年5月12日）から変更あり

|                  | 受注高         |         |        |             | 売上収益        |             |        | 事業利益        |             |                  |
|------------------|-------------|---------|--------|-------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|------------------|
|                  | FY25*<br>実績 | FY26見通し |        | FY25比<br>増減 | FY25*<br>実績 | FY26<br>見通し | 増減     | FY25*<br>実績 | FY26<br>見通し | 増減<br>(増減率)      |
|                  |             | 前回      | 今回     |             |             |             |        |             |             |                  |
| (単位：億円)          |             |         |        |             |             |             |        |             |             |                  |
| エナジー             | 39,367      | 34,500  | 35,500 | △3,867      | 20,626      | 22,000      | +1,373 | 2,672       | 3,400       | +727<br>(+27%)   |
| プラント・インフラ        | 11,580      | 10,000  | 10,000 | △1,580      | 8,808       | 9,500       | +691   | 841         | 900         | +58<br>(+7%)     |
| インダストリアル・ソリューション | 7,047       | 7,500   | 7,500  | +452        | 6,999       | 7,500       | +500   | △20         | 300         | +320<br>(-)      |
| 航空・防衛・宇宙         | 19,294      | 16,500  | 17,500 | △1,794      | 13,938      | 15,000      | +1,061 | 1,515       | 1,700       | +184<br>(+12%)   |
| その他及び<br>全社又は消去  | △753        | △500    | △500   | +253        | △631        | 0           | +631   | △685        | △900        | △214<br>(-)      |
| 合計               | 76,536      | 68,000  | 70,000 | △6,536      | 49,741      | 54,000      | +4,258 | 4,322       | 5,400       | +1,077<br>(+25%) |

(\*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

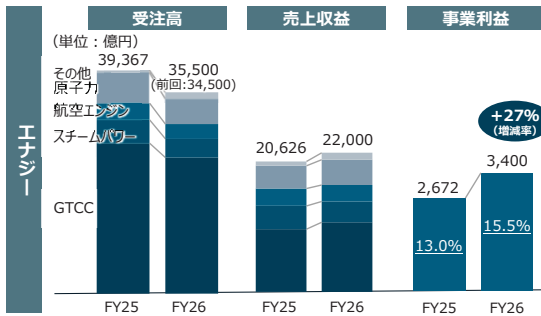
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

17

17ページから19ページには、セグメント別の内訳を記載していますが、内容が重複しますので、この場での説明は省略致します。  
20ページから23ページの補足資料と合わせ、後ほどご覧下さい。

わたくしからの説明は、以上となります。

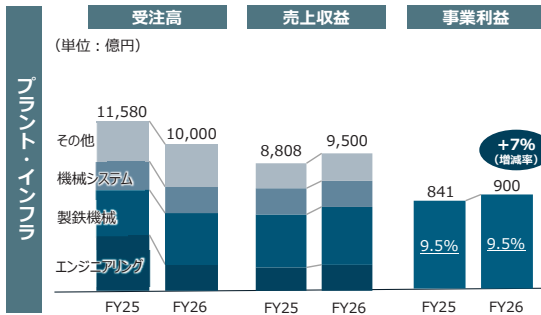
## セグメント別業績見通し <エナジー、プラント・インフラ>



### 2026年度見通しのポイント

- 受注は、前年度から減少を見込むが、GTCCを中心に好調を維持。進捗状況を踏まえ、GTCCの通期見通しを上方修正
- GTCC、原子力は、好調な受注を受け増収

|         | 受注高    |                       | 売上高   |         |
|---------|--------|-----------------------|-------|---------|
|         | FY25   | FY26見通し               | FY25  | FY26見通し |
| GTCC    | 26,526 | 24,000<br>(前回:23,000) | 9,922 | 11,000  |
| スチームパワー | 4,137  | 3,300                 | 3,675 | 3,300   |
| 航空エンジン  | 2,917  | 2,600                 | 2,741 | 2,600   |
| 原子力     | 5,406  | 4,500                 | 3,611 | 4,000   |



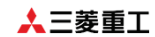
### 2026年度見通しのポイント

前回公表から変更なし

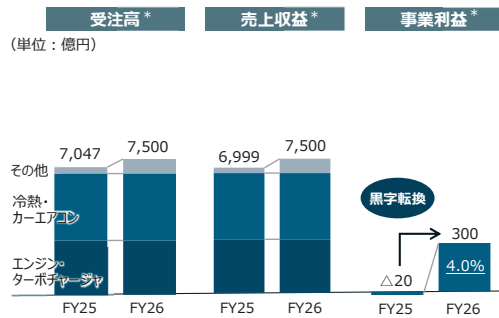
- エンジニアリングは前年度の大型受注のリバウンドで受注が減少
- 製鉄機械を中心に過去3年間で積み上げた受注工事を確実に遂行

|          | 受注高   |         | 売上高   |         |
|----------|-------|---------|-------|---------|
|          | FY25  | FY26見通し | FY25  | FY26見通し |
| エンジニアリング | 3,819 | 1,800   | 1,616 | 1,800   |
| 製鉄機械     | 3,076 | 3,500   | 3,656 | 4,000   |
| 機械システム   | 1,952 | 1,800   | 1,819 | 1,800   |

## セグメント別業績見通し <インダストリアル・ソリューション、航空・防衛・宇宙>



### インダストリアル・ソリューション



#### 2026年度見通しのポイント

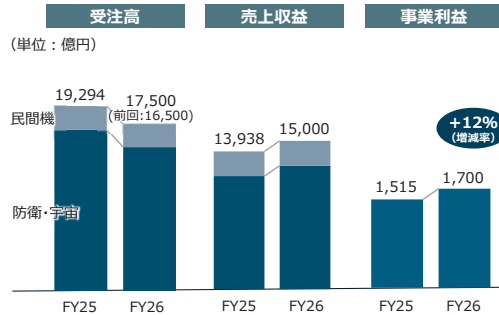
前回公表から変更なし

- エンジン、冷熱は販売台数の増加を見込む

|                | 受注高   |         | 売上高   |         |
|----------------|-------|---------|-------|---------|
|                | FY25  | FY26見通し | FY25  | FY26見通し |
| エンジン・ターボチャージャー | 2,850 | 3,000   | 2,856 | 3,000   |
| 冷熱・カーエアコン      | 3,610 | 3,700   | 3,531 | 3,700   |

(\*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

### 航空・防衛・宇宙



#### 2026年度見通しのポイント

- 防衛・宇宙の受注は前年度対比で減少するも\*、高水準を維持。通期見通しを上方修正
- \* 豪州向けフリゲートを除いた受注は前年度対比で増加を見込む
- 売上は防衛航空機・飛昇体を中心に増加

|       | 受注高    |                    | 売上高    |         |
|-------|--------|--------------------|--------|---------|
|       | FY25   | FY26見通し            | FY25   | FY26見通し |
| 防衛・宇宙 | 16,826 | 15,000 (前回:14,000) | 11,445 | 12,500  |
| 民間機   | 2,468  | 2,500              | 2,492  | 2,500   |

## 4. 補足資料

## 大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

|         | FY25-1Q    | FY25通期       | FY26-1Q     |
|---------|------------|--------------|-------------|
| 米州      | 6          | 19           | 4           |
| アジア     | 2          | 12           | 6           |
| EMEA    | -          | 4            | -           |
| その他     | -          | -            | -           |
| 受注台数 合計 | 8<br>(4GW) | 35<br>(16GW) | 10<br>(4GW) |

|       |              |              |              |
|-------|--------------|--------------|--------------|
| 契約残台数 | 53<br>(23GW) | 74<br>(33GW) | 80<br>(35GW) |
|-------|--------------|--------------|--------------|

## 【参考】中国の協業先企業における受注台数

|      | FY25-1Q | FY25通期 | FY26-1Q |
|------|---------|--------|---------|
| 受注台数 | 3       | 13     | 2       |

## 民間航空機 出荷機数

| 777  | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|
| FY25 | 6  | 8  | 4  | 5  | 23 |
| FY26 | 7  | /  | /  | /  | 7  |

| 777X | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|
| FY25 | 0  | 3  | 5  | 1  | 9  |
| FY26 | 1  | /  | /  | /  | 1  |

| 787  | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|
| FY25 | 18 | 17 | 16 | 22 | 73 |
| FY26 | 21 | /  | /  | /  | 21 |

補足資料 参考データ<sup>(\*)1</sup>



受注残高

| (単位：億円)                          | FY25末   | FY26-1Q末 |
|----------------------------------|---------|----------|
| エナジー                             | 69,832  | 78,146   |
| プラント・インフラ                        | 21,028  | 22,861   |
| インダストリアル・ソリューション <sup>(*)2</sup> | 875     | 1,032    |
| 航空・防衛・宇宙                         | 40,632  | 38,983   |
| その他及び全社又は消去 <sup>(*)2</sup>      | 8       | 6        |
| 合計                               | 132,376 | 141,030  |

未確定外貨

| (億通貨単位)       | USD   | EUR   |
|---------------|-------|-------|
| 未確定外貨（事業利益）   | 32    | 6     |
| 未確定外貨（金融収益費用） | 18    | -     |
| 前提為替レート       | 150.0 | 180.0 |

為替レート（売上計上平均レート）

|              | FY25-1Q | FY26-1Q |
|--------------|---------|---------|
| USドル（円/USドル） | 145.8   | 157.2   |
| ユーロ（円/ユーロ）   | 162.3   | 183.7   |

研究開発費、減価償却費、設備投資

| (単位：億円)                   | FY25-1Q | FY26-1Q | FY26見通し |
|---------------------------|---------|---------|---------|
| 研究開発費（広義） <sup>(*)3</sup> | 461     | 654     | 3,500   |
| 減価償却費                     | 287     | 307     | 1,200   |
| 設備投資 <sup>(*)4</sup>      | 267     | 279     | 2,100   |

販売費及び一般管理費

| (単位：億円) | FY25-1Q | FY26-1Q |
|---------|---------|---------|
| 販売費     | 1,444   | 1,527   |

エナジーセグメント 売上AS比率（累計）

|         | FY25-1Q | FY26-1Q |
|---------|---------|---------|
| GTCC    | 55%     | 45%     |
| スチームパワー | 67%     | 79%     |
| 航空エンジン  | 73%     | 72%     |
| 原子力     | 74%     | 66%     |
| エナジー計   | 64%     | 59%     |

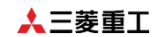
(\*)1 FY25実績は、ML分を含みます

(\*)2 FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載

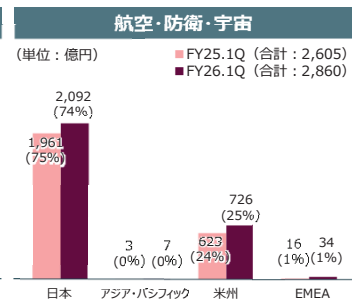
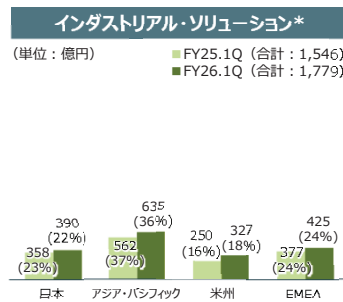
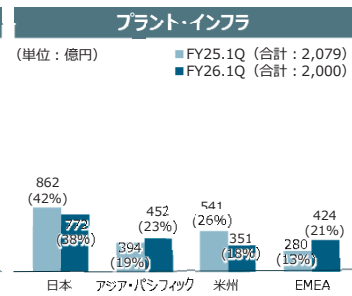
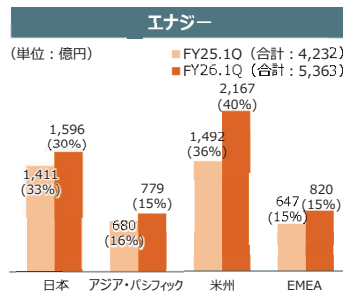
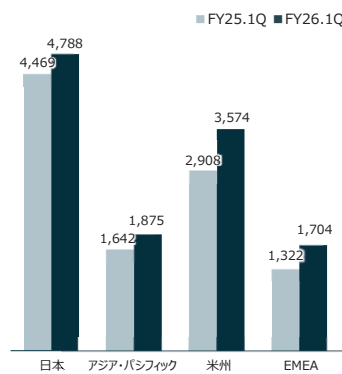
(\*)3 研究開発費には、受託研究等の費用を含む

(\*)4 設備投資には、対価を得て行う生産準備役務等のために取得した固定資産に対する支出を含む

## 補足資料 地域別売上高



| 全社         |             |  |             |
|------------|-------------|--|-------------|
| (単位：億円)    |             |  |             |
|            | FY25-1Q     |  | FY26-1Q     |
| 日本         | 4,469 (43%) |  | 4,788 (40%) |
| アジア・パシフィック | 1,642 (16%) |  | 1,875 (16%) |
| 米州         | 2,908 (28%) |  | 3,574 (30%) |
| EMEA       | 1,322 (13%) |  | 1,704 (14%) |
| 合計         | 10,341      |  | 11,942      |



(\*)FY25実績は、2026年4月1日付の組織再編の影響を2025年度に遡り反映した金額を記載



MOVE THE WORLD FORWARD  RD MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP

